

2026年2月期 第3四半期決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）

2025年12月22日（月）16:30～17:30

決算説明会における質疑応答の要旨です。ご理解いただきやすいように、内容は加筆・修正しています。

## Q. しまむら事業の粗利益率について

A. 8月度に夏物売上が失速し、9～10月度の夏物値下げが増加したため、第3四半期の粗利益率は前年を下回りました。ただし、第1四半期の冬物値下の抑制により、第3四半期累計の粗利益率は前年比0.1ポイント上回っています。

## Q. 販管費について

A. 人件費は賃上げなどの影響で増加しており、販売費についてもキャッシュレス決済比率の上昇に伴い増加しています。一方、売上が堅調に推移していることから広告宣伝費を調整し、抑制することができています。全体としては概ね計画通りに進行しており、適切にコントロールされています。

## Q. 今後の粗利益率の見通しについて

A. 来期も商品価値を高める取り組みを推進するとともに、価格の見直しを進め、値入率の改善を図っていきます。現在、高価格帯のPB（プライベートブランド）商品『CLOSSHI PREMIUM（クロッシープレミアム）』が好調で、前年比16.4%の成長を記録しています。今後も高価格帯商品のラインナップを拡充し、値入を確保することで、適切な粗利益率を確保します。

## Q. PB・キャラクター商品の見通しについて

A. PB商品では、健康意識の高まりを背景に展開した『生き生きラボ』シリーズが好調で、ヒット商品となっています。今後も世相やトレンドを的確に捉えた商品開発を進め、さらなる売上拡大を図ってまいります。また、キャラクター商品では、当社独自の企画や新規キャラクターの開拓に注力し、競合他社との差別化を図っていきます。さらに、タイミングとバランスを見極めながら販売を強化し、売上の増加を目指してまいります。

## Q. タイのポップアップ店舗について

A. 知名度向上を目的として、コンセプトストア "Shima Park" をオープンしました。オープンイベントは大変盛況となりましたが、タイ市場は認知が広まるまでに時間を要する特性があるため、売上については現在分析を進めている段階です。キャラクター商品に加えて、トレンド商品の中でも売れ筋が確認されており、販売動向を詳しく分析しながら、多様な商品の実験販売を行い、今後の展開につなげていきます。